

【相手に届いてこそ挨拶】

皆さん、きまりマナー週間には、1つ1つのことに気を付けて、とてもいい取組をしました。これからも、是非とも続けてくださいね。

さて、ところで、毎日当たり前で大切な挨拶についてはどうでしょうか。今は、マスクで顔の下半分は、隠れています。校帽を被っているときには、もう目元しか出ていない。だから、「おはようございます」と口で言っているけど、挨拶が相手に全然届いていない人がいるんです。自分は、挨拶しているけど、相手に届いていなくて、相手を残念な気持ちにさせているのです。

マスクを着けている今、挨拶の仕方をもう少し工夫する必要がありますね。校長先生は、マスクをしているときには、いつもより少し大きめの声で挨拶するようにしています。また、少し離れた人と挨拶をする時には、ちょっと手を挙げるようにしています。

皆さんもちょっと工夫してみましよう。例えば、

- ・少し大きめの声を出す。
- ・声だけでなく、お辞儀をしっかりとする。
- ・顔を相手に向ける。
- ・立ち止まって、体を相手に向ける。

いろいろな方法があるよね。どれも気を付けてやってみれば、とても簡単なことですね。そのちょっと簡単な工夫に気を付けるだけで、挨拶は、しっかりと相手に届くと思います。

挨拶は、言ったか言わなかったかではなくて、大切なことは、相手に届いたか届かなかったかだと思います。相手の気持ちまで考えて挨拶ができる子が、本当の挨拶名人なのだと思います。